PC98-NXシリーズ

# Mate/Mate R

スリムタワー型
（Windows XP Professionalインストールモデル）
（Windows XP Home Editionインストールモデル）
（Windows 2000 Professionalインストールモデル）

NEC

# はじめにお読みください

**お買い上げいただき、まことにありがとうございます。**
**梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。**

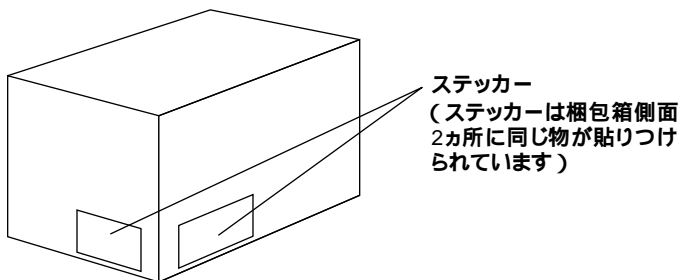
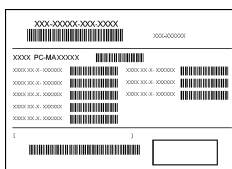
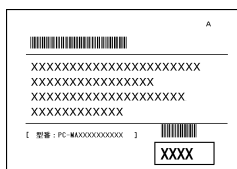
**本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionを、総称してWindows XPと表記します。**
**また、Windows 2000 Professionalを、以降Windows 2000と表記します。**

**なお、本書に記載のイラストはモデルにより異なります。**

## 操作の流れ

# 1 型番を控える

## 型番を控える

**梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレクション型番と呼びます)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。**

**フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。**

**左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。**
**スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、P.6「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。**

## スマートセレクション型番を控える

**スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、P.11「2 添付品の確認」へ進んでください。**

## 1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

[ 型番：PC-MAXXXXXXXXXX ]

XXXX

スマートセレクション型番

□の意味は次の通りです。

### ❶CPUのクロック周波数を表しています。

| ✓ | 型　番 | クロック周波数 |
|---|---|---|
| | 24 | 2.40 GHz |
| | 26 | 2.66 GHz |
| | 30 | 3.06 GHz |

### ❷CPUの種類を表しています。

| ✓ | 型　番 | CPUの種類 |
|---|---|---|
| | VまたはY | インテル® Pentium® 4 プロセッサ |
| | X | インテル® Celeron® プロセッサ |

### ❸本体の型を表しています。

| ✓ | 型　番 | 本体の型 |
|---|---|---|
| | B | スリムタワー型 |
| | R | Mate Rスリムタワー型 |

### ❹ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

| ✓ | 型　番 | ディスプレイの種類 |
|---|---|---|
| | 5 | X530 |
| | 7 | FE770 |
| | G | LCD1560V |
| | H | F15M01 |
| | S | F17R11-MDF |
| | T | LCD1760V |
| | Z | なし |

❺インストールOSの種類、選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

| ✓ | 型　番 | インストールOSの種類 | 選択アプリケーションの種類 |
|---|---|---|---|
| | 1 | Windows 2000 Professional | Office XP Personal |
| | 2 | | Office XP Professional |
| | E | Windows XP Professional | なし |
| | F | | Office XP Personal |
| | G | | Office XP Professional |
| | J | | Office Personal 2003 |
| | U | Windows XP Home Edition | なし |
| | V | | Office XP Personal |
| | W | | Office Personal 2003 |
| | X | | Office XP Professional |
| | Z | Windows 2000 Professional | なし |

❻FDD、CD-ROM、CD-R/RWまたはCD-R/RW with DVD-ROM、キーボードの種類を表しています。

| ✓ | 型番 | FDD | CD-ROM、CD-R/RWまたは CD-R/RW with DVD-ROM | キーボードの種類 |
|---|---|---|---|---|
| | 6 | FDD | CD-R/RW | PS/2 109キーボード |
| | A | | CD-ROM | テンキー付PS/2小型キーボード（縦置収納型） |
| | B | | CD-R/RW | USB 109キーボード |
| | D | | CD-R/RW with DVD-ROM | PS/2 109キーボード |
| | E | | | テンキー付PS/2小型キーボード（縦置収納型） |
| | J | | CD-R/RW | テンキー付PS/2小型キーボード（縦置収納型） |
| | M | | CD-ROM | USB 109キーボード |
| | S | | CD-R/RW with DVD-ROM | |
| | T | | CD-ROM | PS/2 109キーボード |

❼合計メモリの容量、通信機能、グラフィックアクセラレータの種類、再セットアップ用媒体のあるなしを表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型番</th><th>合計メモリの容量</th><th>通信機能</th><th>グラフィックアクセラレータの種類 注意1</th><th>再セットアップ用媒体</th></tr>
<tr><td></td><td>5</td><td>512MB</td><td rowspan="16">LAN</td><td rowspan="2">Geforce4MX440 注意2</td><td rowspan="3">添付</td></tr>
<tr><td></td><td>8</td><td rowspan="2">1GB</td></tr>
<tr><td></td><td>9</td><td>チップセットに内蔵</td></tr>
<tr><td></td><td>A</td><td>128MB</td><td rowspan="5">Geforce4MX440 注意2</td><td rowspan="2">未添付</td></tr>
<tr><td></td><td>C</td><td>256MB</td></tr>
<tr><td></td><td>D</td><td>128MB</td><td rowspan="2">添付</td></tr>
<tr><td></td><td>E</td><td>256MB</td></tr>
<tr><td></td><td>G</td><td>512MB</td><td>未添付</td></tr>
<tr><td></td><td>H</td><td>128MB</td><td rowspan="3">チップセットに内蔵</td><td rowspan="3">添付</td></tr>
<tr><td></td><td>J</td><td>256MB</td></tr>
<tr><td></td><td>M</td><td>512MB</td></tr>
<tr><td></td><td>N</td><td>1GB</td><td>Geforce4MX440 注意2</td><td rowspan="5">未添付</td></tr>
<tr><td></td><td>R</td><td>128MB</td><td rowspan="4">チップセットに内蔵</td></tr>
<tr><td></td><td>S</td><td>256MB</td></tr>
<tr><td></td><td>U</td><td>512MB</td></tr>
<tr><td></td><td>X</td><td>1GB</td></tr>
</table>

注意1 グラフィックアクセラレータの種類は、スリムタワー型に設定されたメニューです。Mate Rスリムタワー型には設定されていません。

注意2 GeForce4 MX440を選択した場合、インターフェイスがDVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の専用コネクターDVI-D(メス)デジタルディスプレイケーブル(PC-MA-K23)が必要です。

❽ハードディスクの容量、筐体アクセントカラーの種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型番</th><th>ハードディスクの容量</th><th>増設ハードディスクの容量</th><th>筐体アクセントカラーの種類</th></tr>
<tr><td></td><td>1</td><td rowspan="2">120GB</td><td rowspan="2">なし</td><td>シルキーブラック</td></tr>
<tr><td></td><td>2</td><td>シルキーホワイト</td></tr>
<tr><td></td><td>8</td><td rowspan="2">80GB</td><td rowspan="2">なし</td><td>シルキーブラック</td></tr>
<tr><td></td><td>9</td><td>シルキーホワイト</td></tr>
<tr><td></td><td>A</td><td>40GB(StandbyDisk Soloあり)</td><td rowspan="2">なし</td><td rowspan="3">シルキーブラック</td></tr>
<tr><td></td><td>B</td><td rowspan="3">40GB</td></tr>
<tr><td></td><td>D</td><td>40GB(StandbyDiskあり)</td></tr>
<tr><td></td><td>E</td><td rowspan="2">なし</td><td rowspan="3">シルキーホワイト</td></tr>
<tr><td></td><td>R</td><td>40GB(StandbyDisk Soloあり)</td></tr>
<tr><td></td><td>X</td><td>40GB</td><td>40GB(StandbyDiskあり)</td></tr>
</table>

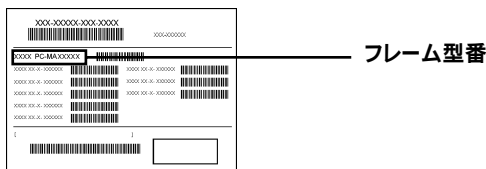
注意 筐体アクセントカラーの種類は、スリムタワー型に設定されたメニューです。Mate Rスリムタワー型には設定されていません。

※上記の❶～❽のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

次にP.11「2 添付品の確認」へ進んでください。

## フリーセレクション型番を控える

**フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、P.11「2 添付品の確認」へ進んでください。**

### 1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

□の意味は次の通りです。

❶CPUのクロック周波数を表しています。

| ✓ | 型　番 | クロック周波数 |
|---|---|---|
| | 24 | 2.40 GHz |
| | 26 | 2.66 GHz |
| | 30 | 3.06 GHz |

❷CPUの種類を表しています。

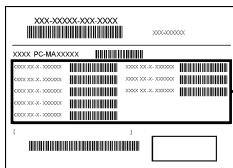
| ✓ | 型　番 | CPUの種類 |
|---|---|---|
| | VまたはY | インテル® Pentium® 4 プロセッサ |
| | X | インテル® Celeron® プロセッサ |

❸本体の型を表しています。

| ✓ | 型　番 | 本体の型 |
|---|---|---|
| | B | スリムタワー型 |
| | R | Mate Rスリムタワー型 |

❹インストールOSの種類を表しています。

| ✓ | 型　番 | インストールOSの種類 |
|---|---|---|
| | E | Windows XP Professional |
| | U | Windows XP Home Edition |
| | Z | Windows 2000 Professional |

## 2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、❶〜❹はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選択必須)。❺〜⓬は選択したモデルやオプションによってステッカーに記載されます(選択必須および選択任意)。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶PC-D-KB□□□7、PC-T-KB□□□7はキーボードの種類を表しています。(選択必須)

| ✓ | 型　番 | キーボードの種類 |
|---|---|---|
| | 10T | テンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型) |
| | 10U | テンキー付きUSB小型キーボード |
| | PS2 | PS/2 109キーボード |
| | USB | USB 109キーボード |

❷PC-D-1H□□□A、PC-T-1H□□□Aは内蔵3.5インチベイに搭載されるハードディスク(プライマリマスタ)の容量を表しています。(選択必須)

| ✓ | 型　番 | ハードディスクの容量 |
|---|---|---|
| | 012 | 120GB |
| | 040 | 40GB |
| | 080 | 80GB |
| | D12 | 120GB×2 |
| | D40 | 40GB×2 |
| | D80 | 80GB×2 |
| | E12 | 120GB(StandbyDisk Soloあり) |
| | E40 | 40GB(StandbyDisk Soloあり) |
| | E80 | 80GB(StandbyDisk Soloあり) |
| | R12 | 120GB×2(RAID1) |
| | R40 | 40GB×2(RAID1) |
| | R80 | 80GB×2(RAID1) |

❸PC-D-ME□□□A、PC-T-ME□□□Aは合計メモリの種類と容量を表しています。(選択必須)

| ✓ | 型　番 | 合計メモリの種類と容量 |
|---|---|---|
| | D10 | DDR SDRAM　　1GB |
| | D25 | DDR SDRAM　256MB |
| | D52 | DDR SDRAM　512MB |
| | N12 | DDR SDRAM　128MB |
| | N25 | DDR SDRAM　256MB |
| | N51 | DDR SDRAM　512MB |

❹PC-D-CD□□□□、PC-T-CD□□□□はファイルベイ用内蔵機器(セカンダリマスタ)の種類を表しています。(選択必須)

| ✓ | 型　番 | ファイルベイ用内蔵機器の種類 |
|---|---|---|
| | CDD6 | CD-ROM |
| | CDR9 | CD-R/RW |
| | CDS7 | CD-ROM |
| | DCR6 | CD-R/RW with DVD-ROM |
| | DRT2 | DVDマルチドライブ |

❺PC-D-NE□□□□、PC-T-NE□□□□は通信機能の種類を表しています。(選択任意)

| ✓ | 型　番 | 通信機能の種類 |
|---|---|---|
| | LAA2 | 標準ギガビットイーサネットLAN ＋ LAN |
| | LAG2 | 標準LAN ＋ ギガビットイーサネットLAN |
| | MDE8 | 標準LAN ＋ FAXモデム |

❻PC-D-AC□□□4は筐体アクセントカラーの種類を表しています。(スリムタワー型は選択必須、その他はなし)

| ✓ | 型　番 | 筐体アクセントカラーの種類 |
|---|---|---|
| | BLB | シルキーブルー |
| | BVB | シルキーブラック |
| | GEB | シルキーグリーン |
| | SLB | シルキーホワイト |

**❼F□□□□□□□□-※、LCD□□□□□□□-※、X□□□-※はディスプレイの種類を表しています。(選択任意)**

| ✓ | 型　番 | ディスプレイの種類 |
|---|---|---|
| | F15M01 | F15M01 |
| | F17R11-MDF | F17R11-MDF |
| | FE770 | FE770 |
| | LCD1560V | LCD1560V |
| | LCD1760V | LCD1760V |
| | X530 | X530 |

※「C」、「M」、「R」、または「T」が入ります。

注意　ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには「-C」、「-M」、「-R」および「-T」が書かれていませんが、同じ商品です。

**❽PC-D-AP□□□7、PC-T-AP□□□7は選択アプリケーションの種類を表しています。(選択任意)**

| ✓ | 型　番 | 選択アプリケーションの種類 |
|---|---|---|
| | MPE | Office XP Professional |
| | MSE | Office XP Personal |
| | SSE | Office Personal 2003 |

**❾PC-D-2H□□□3は内蔵3.5インチベイに搭載される、増設ハードディスク(プライマリスレーブ)/ミラーリング用IDE-RAIDボードを表しています。(スリムタワー型は選択任意、その他はなし)**

| ✓ | 型　番 | 増設ハードディスク/ミラーリング用IDE-RAIDボード |
|---|---|---|
| | SD0 | StandbyDisk |
| | SAD | RAID1 |

**❿PC-D-GR□□□□はグラフィックアクセラレータを表しています。(スリムタワー型は選択必須、その他はなし)**

| ✓ | 型　番 | グラフィックアクセラレータ |
|---|---|---|
| | DVC2 | デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D) |
| | GE43 | GeForce4 MX440 注意 |

注意　GeForce4 MX440を選択した場合、インターフェイスがDVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の専用コネクターDVI-D(メス)デジタルディスプレイケーブル(PC-MA-K23)が必要です。

**⓫PC-D-SU□□□2-S、PC-T-SU□□□2-Sは保守パックの種類を表しています。(選択任意)**

| ✓ | 型　番 | 保守パックの種類 |
|---|---|---|
| | 101またはR01 | PC98-NXSeriesSupportPack 3年間保守 |
| | 102またはR02 | PC98-NXSeriesSupportPack 4年間保守 |
| | 103またはR03 | PC98-NXSeriesSupportPack 3年間保守(ディスプレイなし) |
| | 104またはR04 | PC98-NXSeriesSupportPack 4年間保守(ディスプレイなし) |

⑫PC-D-SP□□□4、PC-T-SP□□□4は再セットアップ用媒体を表しています。（選択任意）

| ✓ | 型　番 | 再セットアップ用媒体 |
|---|---|---|
| | BC2 | 再セットアップ用CD-ROM（Windows 2000 Professionalモデル専用） |
| | BCH | 再セットアップ用CD-ROM（Windows XP Home Editionモデル専用） |
| | BCX | 再セットアップ用CD-ROM（Windows XP Professionalモデル専用） |

以上で型番を控えるは完了です。
次のページの「2 添付品の確認」へ進んでください。

# 2 添付品の確認

## 添付品を確認する

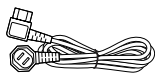
梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

**梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合があります。**

### ❶箱の中身を確認する

P.3の1またはP.6の1、P.7の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

□ は、各々1つにパックされています。

□保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

□はじめにお読みください(このマニュアルです)

□本体(ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMateおよびMate Rを指します)

□キーボード　　□マウス

注 増設ハードディスクを取り付けるときに使います。

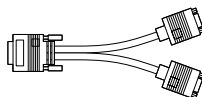
□ソフトウェアのご使用条件（お客様へのお願い）
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□アプリケーションCD-ROM／マニュアルCD-ROM
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□NEC PCあんしんサポート

□各インストールOS用添付品
Windows® XP Professionalファーストステップガイド、
Windows® XP Home Editionファーストステップガイド、または
Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド
（P.4 1-❺、またはP.6 1-❹でインストールOSの種類がわかります）

**FAXモデムを選択したMate Rスリムタワー型の場合添付**

□モジュラーケーブル

**GeForce4 MX440を選択したスリムタワー型の場合添付**

□アナログケーブル（Twin View用）

**再セットアップ用媒体を選択した場合添付**

□再セットアップ用CD-ROM

**ファイルベイ用内蔵機器の種類がCD-R/RWの場合添付**

□RecordNow DX / DLA CD-ROM

**ファイルベイ用内蔵機器の種類がCD-R/RW with DVD-ROM、およびDVDマルチドライブの場合添付**

□WinDVD CD-ROM / RecordNow DX / DLA CD-ROM

**増設ハードディスク（StandbyDisk）を選択した場合添付**

□StandbyDisk 2000-XP Pro 日本語版 CD-ROM
□ユーザー登録書（シリアル番号の記載があります）

**ハードディスク（StandbyDisk Soloあり）を選択した場合添付**

□StandbyDisk Solo 日本語版 CD-ROM
□ユーザー登録書（シリアル番号の記載があります）

マニュアル

□選択アプリケーション
Microsoft® Office Personal 2003、
Microsoft® Office XP Personal、または
Microsoft® Office XP Professional
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
（P.4 1-❺、またはP.9 2-❽で選択アプリケーションの種類がわかります）

**Office XP Personal、またはOffice XP Professionalを選択した場合添付**

□Office XP Service Pack 2 CD-ROM

**保守パックを選択した場合添付**

マニュアル

□PC98-NXSeriesSupportPack

**❷ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する**

（P.3 1-❹またはP.9 2-❼でディスプレイのあるなし、種類がわかります。）

**❸本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する**

PC-MY XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。
なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「3 設置場所の決定」へ進んでください。

# 3 設置場所の決定

## 設置場所を決める

### ○ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度10℃～35℃
　湿度20%～80%
　(ただし結露しないこと)

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない
　(机の上など)

### × 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とキーボードなどを含んだMateおよびMate Rを指します)の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているものの近く

◆直射日光があたる場所

◆暖房機の近く

◆薬品や液体の近く

◆腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所

◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

◆ホコリが多い場所

◆本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所

◆ディスプレイの通風孔がふさがる場所

◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

## ◎ 設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。
本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。
本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。
通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

## ◎ 本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル（電源ケーブル、アース線など）を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で設置場所の決定は完了です。
次のページの「4 添付品の接続」へ進んでください。

# 4 添付品の接続

## 接続するときの注意

- **本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない**
  **故障の原因となります。**

**Mate Rスリムタワー型の場合はP.27へ進んでください**

## スリムタワー型の場合

### 1. 設置

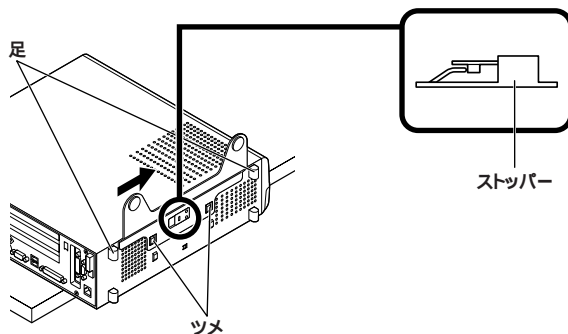
本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず❶か❷のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。なお、ディスプレイや書類などで、通風孔をふさがないでください。
横置きで使用する場合は、P.18「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

**❶スタビライザを2つ取り付ける場合**

**①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる**

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

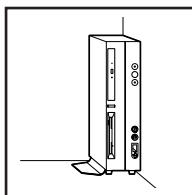
**②片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる**

スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

## ❷スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

**本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。**

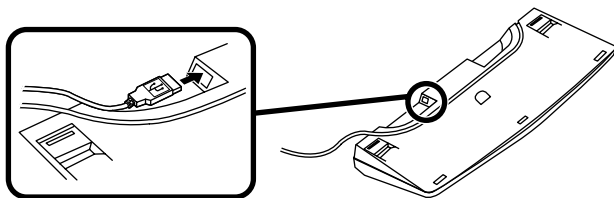
P.16「❶スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける

**1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。**

## 2. マウス、キーボードを接続する

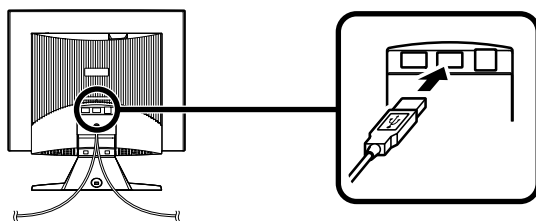
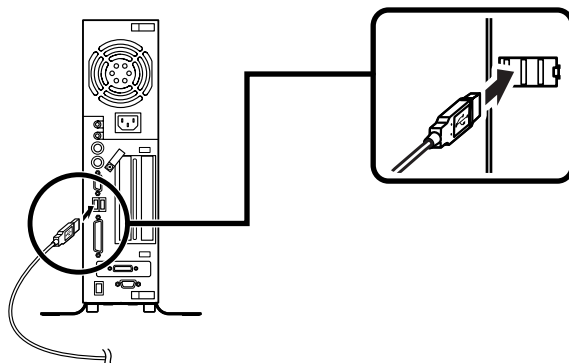
**お使いのキーボードにより、❶から❸のいずれかで接続してください。**

### ❶USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

#### ①添付のマウスをキーボードに接続する

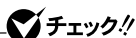
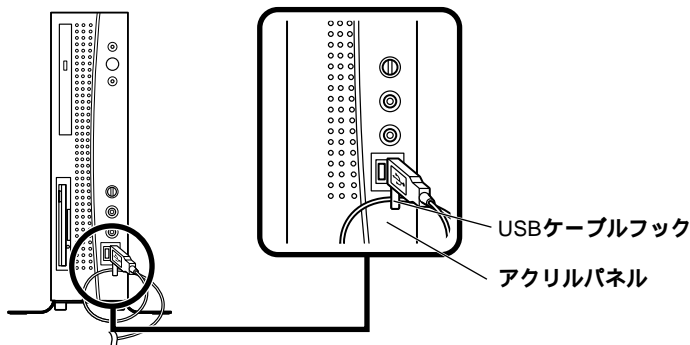
**マウスは、本体のUSBコネクタには接続しないでください。**

#### ②キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

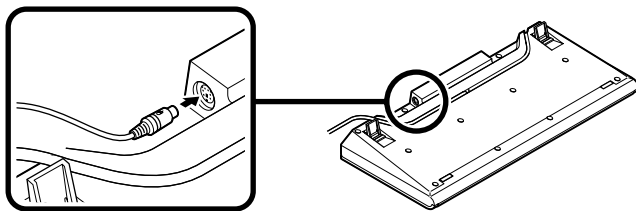
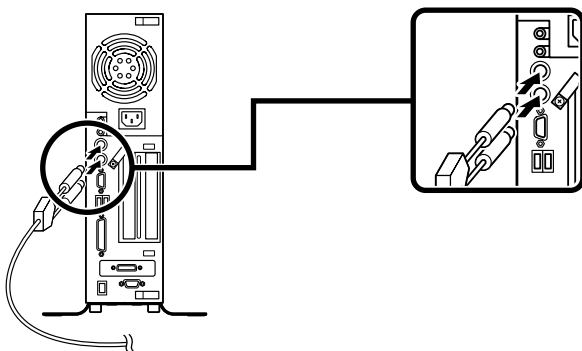
**■液晶ディスプレイに接続する場合**

**ここではディスプレイ(F17R11-MDF)がセットになった場合を例に説明します。**
**液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。**

**■本体(背面)に接続する場合**

※ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART3　周辺機器を利用する(スリムタワー型)」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

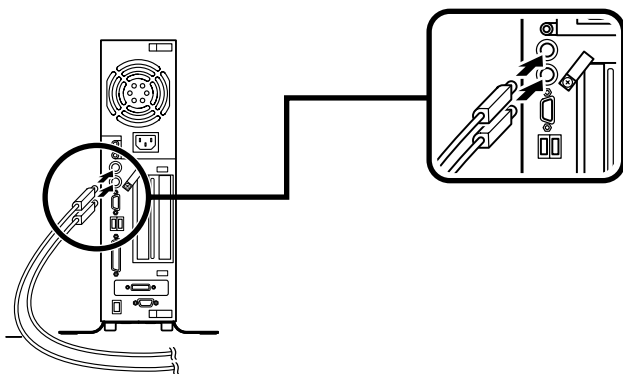
■本体(前面)に接続する場合

USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

※USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。

アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードのケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があります。

❷PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

①添付のマウスをキーボードに接続する

②キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

※ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART3　周辺機器を利用する(スリムタワー型)」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

❸PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

※ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART3　周辺機器を利用する(スリムタワー型)」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

## 3.ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の❶～❷のいずれかの方法で接続してください。ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

### ❶アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ（F17R11-MDF）がセットになった場合を例に説明します。

GeForce4 MX440を選択した場合は、①～⑤の順番に接続してください。

グラフィックアクセラレータを選択しない場合は、③～⑤の順番に接続してください。

> デュアルディスプレイ機能を使用する場合、ここでは一台目のディスプレイのみを接続してください。二台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてから「7 マニュアルの使用方法」までの作業を行い、「8 使用する環境の設定と上手な使い方」の「5.アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用する」をご覧になり、接続してください。

**①ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、添付されているアナログケーブル（Twin View用）のコネクタに接続する**

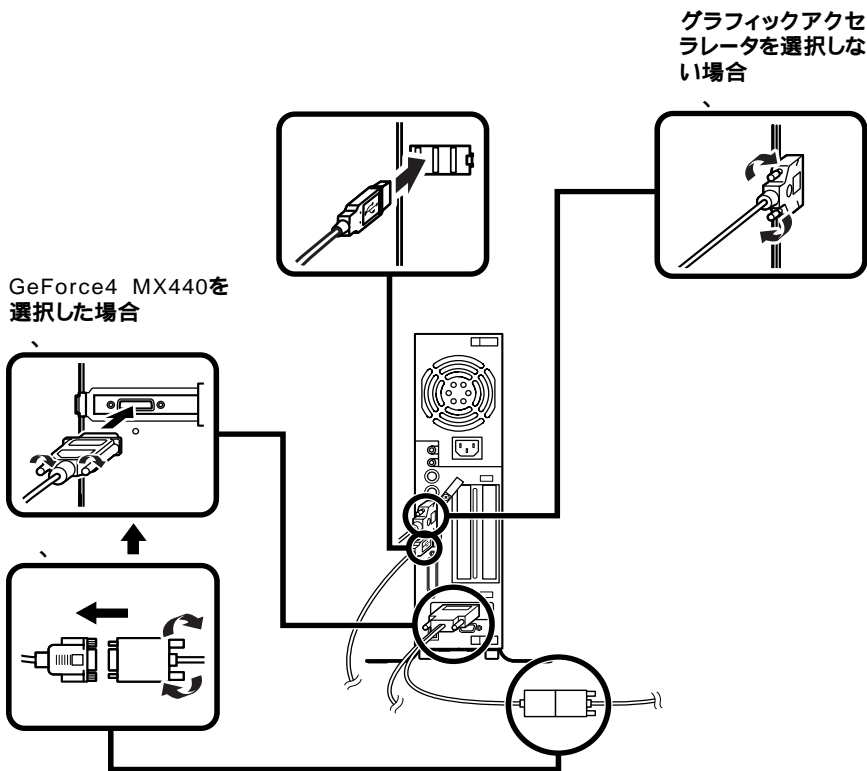
アナログケーブル（Twin View用）にある2つのコネクタの、1側から使用してください。

**②アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする**

**③GeForce4 MX440を選択した場合は、アナログケーブル（Twin View用）のもう一方のコネクタを、アイコン（ ）とコネクタの形状を確認し、本体のGeForce4 MX440のコネクタに接続する**
**グラフィックアクセラレータを選択しない場合は、ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン（ ）とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する**

**④アナログケーブル（Twin View用）、またはアナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする**

**⑤アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する**

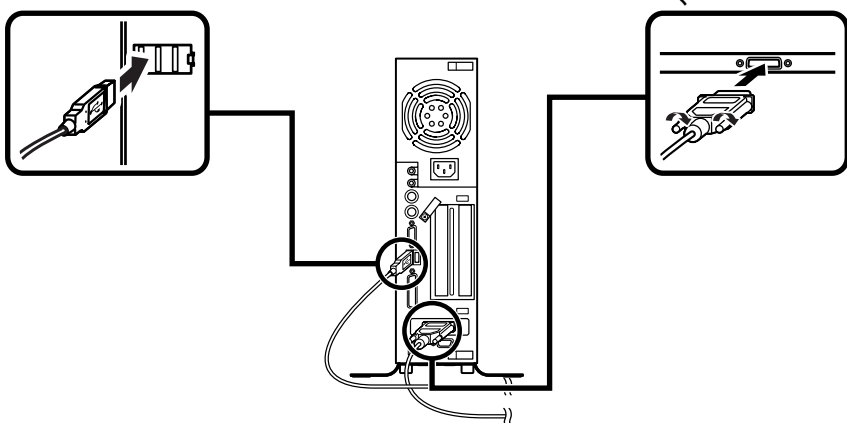
液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

### ❷デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(F17R11-MDF)がセットになった場合を例に説明します。

①ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン( )とコネクタの形状を確認し、本体のDVI-Dコネクタに接続する

②DVIケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネジ止めする

③本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

## 4. リンクケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

**稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。**

LAN を使用する場合は、❶、❸の手順で接続してください。
ギガビットイーサーネットLANを使用する場合は、❷、❸の手順で接続してください。

### ❶ リンクケーブルのコネクタを、PCIスロットに挿入されているLANボードのアイコン( )に従って接続する

### ❷ リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン( )に従って接続する

### ❸ マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方を接続する

※LANの設定については、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』「PART 1　本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」)をご覧ください。

## 5. アース線、電源ケーブルを接続する

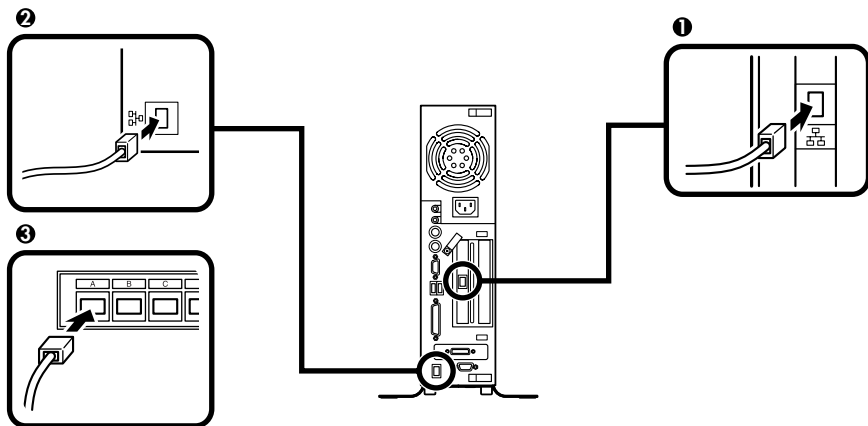
**チェック!!**

- アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。
- アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。
- アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。
- アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

次のページのイラストを見て❶〜❸の順番に接続してください。

### ❶アース線を接続する

①本体のアース端子にアース線をネジ止めする

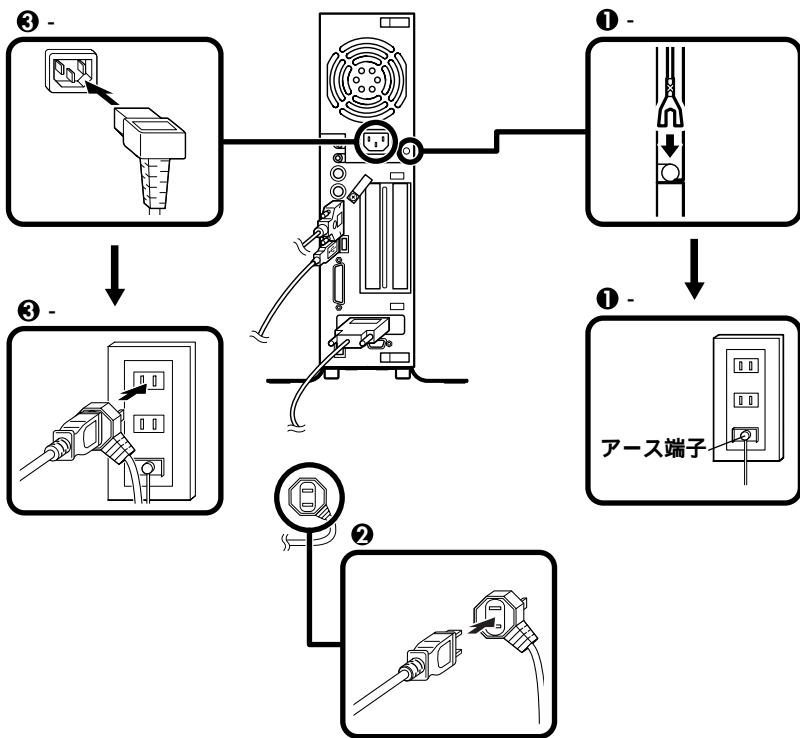
②コンセントのアース端子にアース線を接続する

### ❷ディスプレイの電源ケーブルのプラグをサービスコンセント付き電源ケーブルに差し込む

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(F17R11-MDF)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

### ❸本体の電源ケーブルを接続する

①本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

②サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

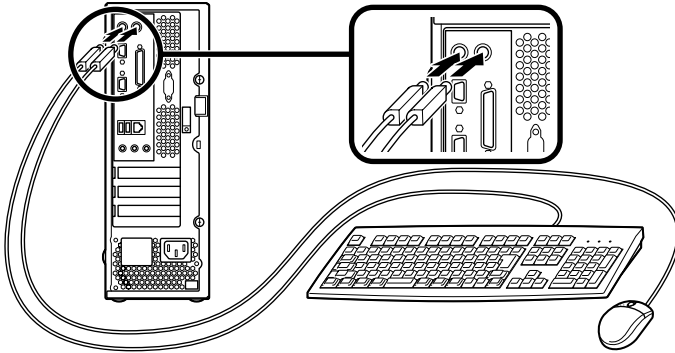
**一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)**

**以上で添付品の接続は完了です。**
**P.33「5 Windowsのセットアップ」へ進んでください。**

## Mate Rスリムタワー型の場合

### 1. 設置

縦置きの場合は、「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。
本体を横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。

### 2. マウス、キーボードを接続する

**添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する**

※ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART4　周辺機器を利用する(Mate R スリムタワー型)」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

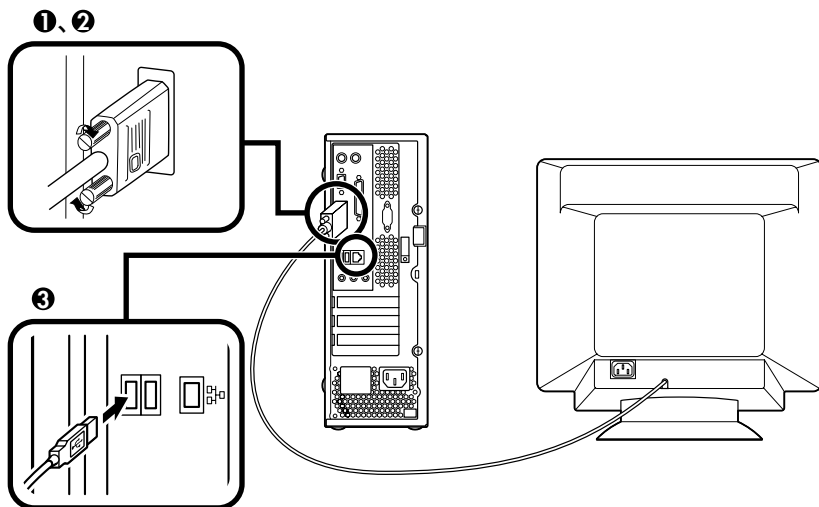
## 3. ディスプレイを接続する

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。
ここではディスプレイ(FE770)がセットになった場合を例に説明します。
❶〜❸の順番に接続してください。

**❶ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン(▢)とコネクタの形状を確認し本体のアナログRGBコネクタに接続する**

**❷アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする**

**❸液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体と液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する**

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

## 4. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、❶の手順で接続します。
FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、❷の手順で接続します。

### ❶リンクケーブル(別売)を接続する場合

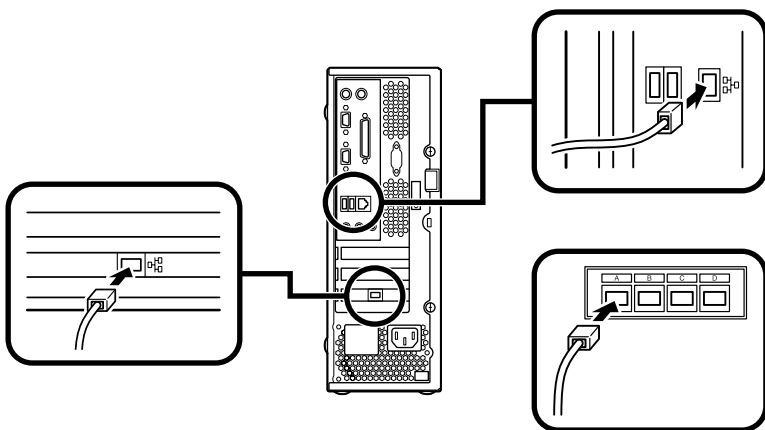
> 稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

ギガビットイーサネットLANを使用する場合は、①、③の手順で接続してください。
標準LANを使用する場合は、②、③の手順でしてください。

① リンクケーブルのコネクタを、PCIスロットに挿入されているLANボードのアイコン(品)に従って接続する

② リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

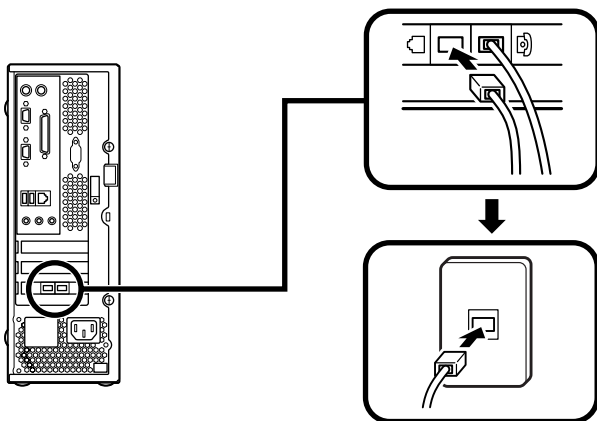
③ マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する

※LANの設定については、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』「PART1　本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」をご覧ください。

### ❷ モジュラーケーブルを接続する場合

- 端末機器の設計についての認証（技術基準適合認定）は電話回線で受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型（高拡張性タイプ）、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』「PART1　本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

① 電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン（）に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを本体のアイコン（）に従って接続する

② モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。

## 5. アース線、電源ケーブルを接続する

チェック!!

- アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。
- アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。
- アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。
- アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

次のページのイラストを見て❶〜❸の順番に接続してください。

### ❶アース線を接続する

①本体のアース端子にアース線をネジ止めする

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

### ❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはディスプレイ(FE770)がセットになった場合です。ディスプレイの電源ケーブルの接続については、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

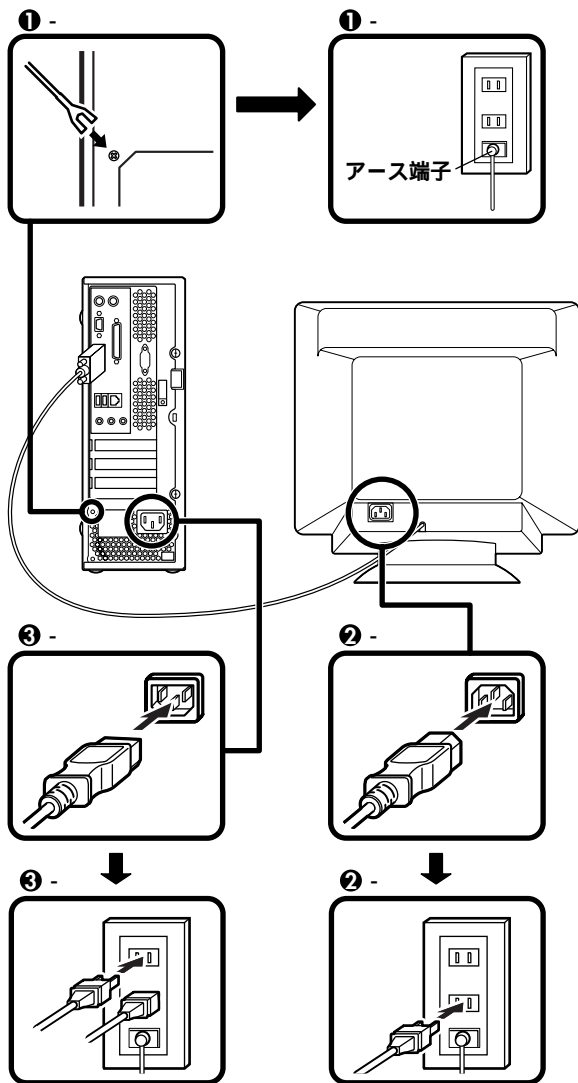
①ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

②電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

### ❸本体の電源ケーブルを接続する

①本体に電源ケーブルを接続する

②電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

**一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)**

**以上で添付品の接続は完了です。**
**次のページの「5 Windowsのセットアップ」へ進んでください。**

# 5 Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

## セットアップをするときの注意

- **プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない**
  この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「5 Windowsのセットアップ」から「8 使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- **途中で電源を切らない**
  作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。
- **セットアップ中は放置しない**
  キー操作が必要な画面で、本機を長時間放置しないでください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、P.41「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

## セットアップを始める前の準備

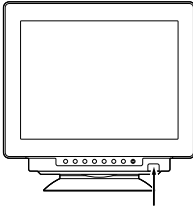
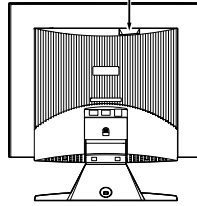
Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

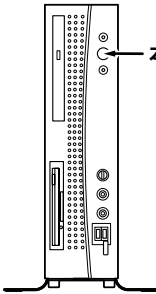
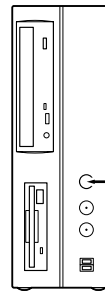
## 電源を入れる

**必ず❶、❷の順番に従って、正しく電源を入れてください。**

### ❶ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

■ CRTディスプレイ（FE770）の場合

■ アナログ液晶ディスプレイ（F17R11-MDF）の場合

### ❷本体の電源を入れる

■スリムタワー型の場合

■Mate Rスリムタワー型の場合

## セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、「1. Windows XP Professionalのセットアップ」、P.36「2. Windows XP Home Editionのセットアップ」、またはP.37「3. Windows 2000のセットアップ」に進んでください。

また、Ghostについては、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「Ghost.txt」をご覧ください。

### 1. Windows XP Professionalのセットアップ

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④～⑧の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」の画面を確認する

 をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータに名前を付けてください」の画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❺「管理者パスワードを設定してください」の画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「このコンピュータをドメインに参加させますか？」の画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❼「インターネットに接続する方法を指定してください。」の画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❽「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」の画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❾「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❿「設定が完了しました」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、P.39「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

## 2. Windows XP Home Editionのセットアップ

Windows XP Home Editionのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④～⑥の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」の画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータに名前を付けてください」の画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❺「インターネットに接続する方法を指定してください。」の画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❻「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」の画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❽「設定が完了しました」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Home Editionのセットアップが終了したら、P.39「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

## 3. Windows 2000のセットアップ

Windows 2000のセットアップを開始します。

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。

❶「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「ライセンス契約」の画面が表示される

内容をよくご覧の上、次に進んでください。

①▼をクリックして続きを見る

②内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック
（同意しない場合、セットアップは続行できません。）

③「次へ」ボタンをクリック

❸「ソフトウェアの個人用設定」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。また、名前は半角英数字で入力してください。ご利用になるアプリケーションによっては、名前に全角文字が使われていると正常に動作しないものがあります。

**①名前を入力**

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

**②組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせてクリック**

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同じように組織名を入力します。

**③「次へ」ボタンをクリック**

**❹「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」の画面が表示されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力**

**①コンピュータ名を入力**

コンピュータ名は後で変更できます。

**設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。**

**②パスワードを入力**

パスワードは大文字、小文字を区別しています。パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

**③パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力**

**④ 「次へ」ボタンをクリック**

**❺「Windows 2000セットアップ」の画面が表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック**

自動的に再起動します。

**❻再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック**

**❼「このコンピュータのユーザー」の画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「次へ」ボタンをクリック**

**設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。**

❽「ネットワーク識別ウィザードの終了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

手順❼で「ユーザーはこのコンピュータを利用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選択した場合、「Windowsへのログオン」の画面が表示されます。
手順❹で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

デスクトップ画面が表示される前に「システム設定の変更」の画面が表示される場合があります。その場合はデスクトップ画面が表示されるまで待ち、「Windows 2000の紹介」の画面の「終了」ボタンをクリックしてから、「システム設定の変更」の画面の「はい」ボタンをクリックして再起動してください。

Windows 2000のセットアップが終了したら、「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

## 電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

スマートセレクション、およびフリーセレクションで、Office XP Personal、およびOffice XP Professionalを選択した場合は、一度電源を切った後、再度電源を入れ、次の「Microsoft® Office XP Service Packをインストールする（Office XPモデルのみ）」へ進んでください。

### 1．Windows XPの終了

❶「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

❷「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

❸ディスプレイの電源を切る

### 2．Windows 2000の終了

❶「スタート」ボタンをクリックし、「シャットダウン」をクリック

❷「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

❸ディスプレイの電源を切る

以上で、Windowsのセットアップは完了です。

P.42「6 お客様登録」へ進んでください。

## Microsoft® Office XP Service Packをインストールする(Office XPモデルのみ)

Office XP Personal、またはOffice XP Professionalモデルをお使いの方は、「Microsoft® Office XP Service Pack 1」、「Microsoft® Office XP Service Pack 2」をインストールしてください。

**「Microsoft® Office XP Service Pack 1」、「Microsoft® Office XP Service Pack 2」の順番でインストールしてください。**
**また、Windows 2000 をお使いの場合は、「Microsoft® Office XP Service Pack 2」をインストールする前に「Office XP 入力システムアップデート」をインストールしてください。**

インストール方法、または修正事項については、「Office XP Service Pack 2 CD-ROM」の次の箇所をご覧ください。

- 「Office XP SP-1アップデート(標準アップデート)」
- 「Office XP 入力システムアップデート」(Windows 2000のみ)
  \SP1\SP1INST.HTM

- 「Office XP SP-2 アップデート(標準アップデート)」
  \SP2\SP2INST.HTM

メモ

- インストール後、任意の場所に保存したファイル「Oxpsp1.exe」「Oxpauiu.exe」「Oxpsp2.exe」は削除することをおすすめします。
- インストール中に他のアプリケーションが起動していると、アプリケーションを終了するようメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示されたときは、「無視」ボタンをクリックしてください。
- インストールの途中で「Office XP Personal」または「Office XP Professional」CD-ROMが必要になる場合があるので、あらかじめ用意しておいてください。
- 「ここにショートカットを作成することはできません。デスクトップ上に作成しますか?」と表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

以上で、Windowsのセットアップは完了です。

P.42「6 お客様登録」へ進んでください。

## セットアップ中のトラブル対策

### ◎ 電源スイッチを押しても電源が入らない

- **電源ケーブルの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源ケーブルをコンセントから抜き、本体と電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源ケーブルをコンセントに差し込む**
  電源ケーブルを接続しなおしても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

### ◎ セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- **電源を入れて、表示される画面をチェックする**
  CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。（CHKDSKは実行されない場合もあります。）
  セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
  再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

### ◎ セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- **パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する**
  電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

# 6 お客様登録

添付の『NEC PCあんしんサポート』をご覧になり、インターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

以上でお客様登録は完了です。
次の「7 マニュアルの使用方法」へ進んでください。

# 7 マニュアルの使用方法

本機に添付または「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「その他」、「アフターケアについて」をご覧ください。

## マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「Mate/Mate R 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「Mate/Mate R 電子マニュアル」の使用方法については、P.45「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』
本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●各インストールOS用ガイド
『Microsoft® Windows® XP Professionalファーストステップガイド』
『Microsoft® Windows® XP Home Editionファーストステップガイド』
『Microsoft® Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド』
各Windowsの全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。
(Windows 2000の場合は、ヘルプの中にあるオンライン形式の『Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』でもご覧いただけます。)

●『活用ガイド　再セットアップ編』
本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』(Windows XP Professionalインストールモデル、Windows XP Home Editionインストールモデル、Windows 2000 Professionalインストールモデル)　※
本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定)、ATコマンドについて確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』　※
アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップするとき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●『ハードウェア拡張ガイド　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』　※
本体の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機器の取り付けを行うときにお読みください。

●ディスプレイのユーザーズマニュアル

- 液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの場合は、ディスプレイに添付されています(P.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際に、必ずお読みください。
- 液晶ディスプレイのUSBハブが正常に接続されていることの確認については、次の手順で「デバイスマネージャ」から「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」を開き、以下のいずれかになっていることを確認してください。

〈PS/2キーボードをお使いの場合〉

「NEC USB Hub」が表示されている

〈USBキーボードをお使いの場合〉

「NEC USB Hub」が２つ表示されている、または「NEC USB Hub」と「汎用USBハブ」が表示されている

■Windows XPの場合

①「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

②「システムのタスク」の「システム情報を表示する」をクリック

③「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック

④「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック

■Windows 2000の場合

①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

②「システム」をダブルクリック

③「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック

④「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック

●選択アプリケーションのユーザーズマニュアル
モデルによって、Office Personal 2003、Office XP Personal、またはOffice XP Professionalのマニュアルが添付されています(P.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●『NEC PCあんしんサポート』
パソコンに関する相談窓口、故障時のサービス網やNECの企業向けパソコン関連総合サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

—— Microsoft関連製品の情報について ——

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。
http://www.microsoft.com/japan/info/press/

## 電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

❶ **CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする**

❷ **「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く**

❸ **CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック**

❹ **「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック**

「Mate/Mate R 電子マニュアル」が表示されます。

### PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAcrobat Reader 5.0をインストールしておく必要があります。詳しくはMate/Mate R 電子マニュアル『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」「Acrobat Reader 5.0」をご覧ください。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
  「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- NECの企業向けパソコン関連総合サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。
  http://nec8.com/
  「サポート情報」→「商品情報・消耗品」→「本体添付マニュアル」の「ビジネスPC(電子マニュアル)」から、電子マニュアルビューアをご覧ください。
  また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。
  http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次のページの「8 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

# 8 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』および『活用ガイド　ソフトウェア編』をご覧ください。

## 1. 最新の情報を読む

### 補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

■Windows XPの場合

- 「Mate/Mate R 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

■Windows 2000の場合

- 「Mate/Mate R 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- 「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」をクリック

## 2. Windows XP のService Packについて

### Service Pack 1

Windows XPをお使いの場合、本機にはService Pack 1がインストールされています。
Service Pack 1を削除する場合は、必ず『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加(Windows XP Professional、Windows XP Home Editionの場合)」の「「Service Pack」について」をご覧になり、必要に応じて削除してください。削除時の注意および削除方法が記載されています。

## 3. Windows 2000のService Packについて

### Service Pack 4

Windows 2000をお使いの場合、本機にはService Pack 4がインストールされています。Service Pack 4を削除する場合は、必ず『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加(Windows 2000 Professional)」の「「Service Pack」について」をご覧になり、必要に応じて削除してください。削除時の注意および削除方法が記載されています。

## 4. Windows Updateについて

### Windows Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。Windowsを最新の状態に保つために、Windows Updateを定期的に実施してください。Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」、または「ヘルプ」をご覧ください。

## 5. アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用する

### デュアルディスプレイ機能について

スリムタワー型で、GeForce4 MX440を選択した場合、アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用することができます。電源が入っている場合は、電源を切り、「4 添付品の接続」「3.ディスプレイを接続する」の「❶アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合」をご覧になり、一台目のディスプレイと同様の手順で、二台目のディスプレイを接続してください。デュアルディスプレイ機能の設定については、『活用ガイドハードウェア編 スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』「PART1 本体の構成各部」「ディスプレイ」の「デュアルディスプレイ機能について」をご覧ください。

## 6.液晶ディスプレイの調整

### 液晶ディスプレイの調整について

文字がにじむときや縦縞状のノイズなどがあるときは、液晶ディスプレイの調整が必要です。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧になり、ディスプレイを調整してください。

**〈液晶ディスプレイ(F15M01、F17R11-MDF)をアナログ液晶ディスプレイとして使用した場合〉**

「画面調整用BMPファイル」が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に格納されています。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

**〈液晶ディスプレイ(F15M01、F17R11-MDF)をデジタル液晶ディスプレイとして使用した場合〉**

画面の位置、サイズなどの調整は必要ありません。

**〈アナログ液晶ディスプレイ(LCD1560V、LCD1760V)の場合〉**

ディスプレイ本体のオートアジャスト機能で調整してください。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

## 7. Securityの設定

### スーパバイザ/ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ/マネジメント機能」をご覧ください。

## 8. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド ソフトウェア編』「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

### ❶Masty Data Backup

ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えなくなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアップをとるようおすすめします。
本機には、ハードディスクドライブのデータをバックアップするアプリケーション(Masty Data Backup)が「アプリケーションCD- ROM/マニュアルCD- ROM」に添付されています。(Mate Rスリムタワー型には添付されていません。)
詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』「PART1　本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」、『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

### ❷StandbyDisk

2台のハードディスクを使用し、一方のハードディスクドライブの内容をもう一方のハードディスクドライブに定期的(日/週/月単位等)に、バックアップできます。このため、運用中のハードディスクドライブの障害が起きたときに、もう一方のハードディスクから起動し、バックアップした時点の環境に戻すことができます。
StandbyDiskは「増設ハードディスク(StandbyDisk)」を選択した場合のみ添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk」をご覧ください。

### ❸StandbyDisk Solo

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。
稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動しシステムを復旧することが可能です。
StandbyDisk Soloは「ハードディスク(StandbyDisk Soloあり)」を選択した場合のみ添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk Solo」をご覧ください。

### ❹StandbyDisk Solo RB

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。

### ❺FastCheckモニタリングユーティリティ

FastCheckモニタリングユーティリティは、RAIDシステムを管理するユーティリティです。RAIDシステムの全ての操作ステータスを監視することができます。データの変更や保存の際に、搭載した２台のハードディスクドライブにリアルタイムでデータの書き換えを実行し、大切なデータを二重化して保存します。万一１台目のハードディスクドライブでディスククラッシュなどのハードウェア障害が発生しても、もう一方のハードディスクドライブで継続動作が可能です。
FastCheckモニタリングユーティリティは、P.9 2-❾フリーセレクションの「増設ハードディスク/ミラーリング用IDE-RAIDボード」にて「RAID1」を選択した場合のみインストールされています。詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』「PART1　本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ(IDE-RAID)ボードを搭載したモデルの場合」、または「Mate/Mate R 電子マニュアル」「「FastCheckモニタリングユーティリティ」について」をご覧ください。

## 9. 利用する添付アプリケーションの設定

### McAfee VirusScan Onlineなど

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(McAfee VirusScan Online)が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。

**本機に添付されているMcAfee VirusScan Onlineでは、新種のウイルスを検出できない場合があります。新種ウイルスに対応するため、ウイルス定義(DAT)ファイルを更新する必要があります。**

この他にも便利なアプリケーションが添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

## 10. 上手な使い方

### ❶ トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。詳しくは、『活用ガイド　ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

### ❷ 本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型、Mate R スリムタワー型』「PART4　付録」の「本機のお手入れ」をご覧ください。

## ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、またはWindows 2000、および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(10) 本書に記載しているWebサイトは、2003年9月現在のものです。

---

Microsoft、Windows、Officeロゴ、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Intel、Pentium、およびCeleronは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標あるいは登録商標です。
当該文書の本文で使用される全ての登録商標名McAfee, VirusScanは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
Sonic RecordNow、およびSonic DLAは、米国Sonic Solutionsの登録商標です。
InterVideo、InterVideoロゴ、WinDVDはInterVideo,Inc.の商標または登録商標です。

StandbyDiskは、(株)ネットジャパンの商標です。
StandbyDisk Soloは、StandbySoft LLC / (株)ネットジャパンの商標です。
StandbyDisk Solo RBは、StandbySoft LLC / ㈱ネットジャパンの商標です。
Symantec、Symantec ロゴは、Symantec Corporationの登録商標であり、Symantec Corporationの各製品名はSymantec Corporationの登録商標または商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

---

初版 2003年 10月

853-810602-075-A

---

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を使用しています。